

第4回検討会議の主な意見

(1) 議題2(家庭系収集ごみ有料化の料金体系等)についての意見

- 手数料の賦課方式については、排出者が排出した分を負担するという「排出量単純比例型」の方式が分かりやすい。「一定量無料型」の方式では、ごみの減量効果が薄くなると考えられる。
…「排出量単純比例型」が適当と考える。
- 手数料の徴収方法については、現在も指定ごみ袋制であることや県内自治体での採用実績などから、「指定ごみ袋制」が適当である。「シール制」は、剥がれたり、ごみ収集時の煩雑さも考慮すると、運用が難しい。
…「指定ごみ袋制」が適当と考える。
- 作成するごみ袋の色は、からす対策も考慮して、黄色がよいのではないか。
市の公認マスコットキャラクターである「梅子」のイラストをごみ袋に入れるのもよいと思う。
…有料化制度に伴い、現行のごみ袋を変更する必要があるため、色、デザイン等を含めて工夫していく。
- 免除の対象については、紙おむつを排出する世帯(乳幼児、高齢者、障がいをお持ちの方)だけでなく、生活困窮者への配慮も必要だと思う。透明袋による排出は容易ではあるが、個人情報等の問題もあり、一定枚数のごみ袋を配布する方法がよいのではないか。
…免除の対象、方法については詳細な検討が必要で、先進事例も参考にしながら、考えていく。
- 指定ごみ袋の種類については、ごみ減量や単身世帯が増加しているという観点から、10リットルサイズのごみ袋もあった方がよいと思う。
…行政側の観点であるが、10リットルサイズのごみ袋は、袋代だけになってしまう可能性もあることを考慮しながら、検討していく。
- 制度移行時の現在の指定ごみ袋の取扱いについては、周知方法や移行期間の設定がポイントになる。
…移行期間について、十分に検討していく。

(2) 議題3(家庭系収集ごみ有料化の料金設定)についての意見

○1リットル当たり1円という料金設定だと、平均世帯人口を2.5人とした世帯負担額は、約300円/月増加するとあるが、ごみ処理費用も増大している現状を考えると仕方がないことだと思う。

○有料化が導入されたら、ごみ減量の努力をするため、記載されている負担額よりも少なくなると思う。

○料金設定のポイントである「合理的で市民の理解を得やすい料金」とは、「市民の理解を得やすい料金」というところが重要である。常滑市より高い料金設定になると理解は得られないと思う。

○受益者負担率については、一般市民の多くは知らないと思うので、それなりの説明が必要である。

○料金設定は、市民の方への説明の仕方で、印象が随分違うと思う。

「ごみ処理費用から計算すると1リットル当たり1.5円になるが、近隣自治体の状況を考慮して、1リットル当たり1円という料金設定をした。」など。

○現在も指定ごみ袋を購入している時点で、既に有料化していると感じている市民の方も多いと思う。現在との違いを明確にしながら、説明する必要がある。

○1リットル当たり0.75円に設定した場合と1円に設定した場合に、減量効果が変わらないのであれば、料金設定を安くするべきだと思う。

○有料化導入のポイントは、ごみの減量というところにある。手数料の多寡ではなく、市民の方がどれだけ、ごみ減量に取り組むかということも重要である。

○ごみの減量ということが目的とあるが、手数料収入を市の財源としたいという事情があると思う。有料化による収入を焼却施設の修繕費用や新しい施設の建設費用に充てるといった説明があれば、納得する市民の方もいると思う。財政状況が厳しいことを正直に訴えることも必要なのではないか。

○県内自治体の状況を見て、市民の方が妥当であると納得できる料金設定をする必要がある。

…料金設定については、パブリックコメントなども踏まえて意見を集約し、市民の方が納得できるような説明を考えていく。

(3) 議題4(知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画(案))についての意見

○現在も既に有料化であると感じている市民の方も多いという意見がある。

市民の意識と行政の考えの差異について、図などを利用し、分かりやすい説明が必要である。

…計画書に説明を加えていく。

○料金設定が一番肝心である。県内自治体の状況は、1リットル当たり1円未満の料金設定をしている。

1リットル1円以上の料金設定をする場合、市民の方に理解を得られるような説明が必要である。

…市民の方が納得できるような説明を考えていく。